

問題はつぎのページから始まります。

一

次の各問いに答えなさい。

問一 次の各文の――線部のカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直しなさい。

- 1 祖父のイ産を相統する。
- 2 名前を呼ばれてワレに返る。
- 3 空一面がハイ色の雲におおわれる。
- 4 道路のカク張工事が行われる。
- 5 決勝戦が雨天順延となる。
- 6 宇宙空間で作業をする。
- 7 おたがいに承知の上で実行する。
- 8 重い米俵をかつぐ。

問二 次の慣用句の空欄に入る動物の名前をそれぞれひらがなで書きなさい。また、その慣用句の意味として正しいものを下段のア～オからそれぞれ一つ選んで記号で答えなさい。

- 1 のなみだ
- 2 の一声
- 3 寝入り
- 4 につままれる
- 5 をかぶる

- ア 大勢で議論しても決まらなかったことを、一言で決めてしまうえらい人の発言。
- イ 自分の本当のすがたをかくして、大人しいように見せかける。
- ウ ほんのわずかであること。
- エ 考えてもいなかったことが突然起こって、ぽかんとする。
- オ 都合の悪い時などに、眠ったふりをする事。

二

次の文章は対人不安について書かれた文章です。筆者は、まず人から見下されているのではないかという不安から不機嫌ふきげんになったり挑発ちやうはつ的な態度をとってしまったりする「見下され不安」があると説明します。次はそれに続く文章です。読んで、あとの問いに答えなさい。

こんなふうに見てくると、そこまでして友だちに気をつかい、自分を抑えて合わせるばかりというのは、どうにも滑稽こっけいに思えてくる。なんともバカバカしい。夜、家で一人で振り返るとそう思うのだが、また友だちと会うと気をつかい、自分を抑えて合わせるばかりの自分になってしまう。

なぜそうになってしまうのかと言えば、やっぱり人から嫌われるのが怖いからだ。人から嫌われるのではという不安が、過度かどに気づかいを促うながし、嫌いやと言えない自分にさせる。

先ほど触れた大学生・専門学校生をタイショウとした調査によれば、「人からどう思われているかがとても気になる」は七九パーセント、「人から嫌われたくない」という思いが強い」は七二パーセント、「人から嫌われるのではと不安になることがある」は六〇パーセントとなっている。人からどう思われるかばかりを気にしていたら、気持ちが萎縮いしゆくして伸び伸びとできないし、自分らしさが失われてしまう。自分を出してみても、こつちを嫌うような相手なら、ほんとうの友だちとは言えないし、嫌われたっていいじゃないか。もともと合わない相手なのだから。本を読んだり、新聞やネットの人生相談なものを見ると、そんなことが書いてある。

それはたしかに正論なのだろう。それでも、人からどう思われるかは気にせずにはいられない。「人は人、自分は自分」と自分自身に言い聞かせようとしても、どうしても割り切れない。やっぱり嫌われるのは怖い。

A そんな葛藤かつとうを抱かかえているとき、「自分らしく生きるためには嫌われるのを怖おそれれていてはダメだ。嫌われる勇気をもつことが必要だ」などと言われると、そんな気がしてくる。嫌われてもいいと思えば、どんなに楽だろう。そんな思いになる。

① イヤと言えない自分がイヤだ。

② 落ち込こんでいるのにサーブス精神ではしゃぐ自分が淋さびしい。

③ 本当はやってもないのに宿題やテスト勉強をしたと言ってしまう。

④ 自分の意見も言えず、いつも相手に合わせるだけの自分に自己嫌悪。

⑤ つながりが煩わしいのに、離れる勇気がない。

⑥ 仲間から浮くのがイヤで、流されてる自分が好きになれない。

⑦ 周りの反応を気にして、さしさわりのない話しかできないのが物足りない。

⑧ 嫌われるのが怖くて、距離を縮められない。

⑨ 反発を恐れて言いたいことも言えない自分が情けない。

B そうした思いに苛まれる人にとって、「嫌われる勇気」という言葉は新鮮だ。「こんな虚しいし、鬱陶しい。でも嫌われたくない」といった

葛藤を抱え、「こんな自分はもう嫌だ。変えられるものなら自分を変えたい」といった心の叫びをあげている人の心に、「嫌われる勇気」という言葉は、とても魅力的に響く。

何かに縛られ、自分の思うような生活になっていない。「人からどう思われるか」ばかり絶えず気にして、非常に不自由な生き方を強いられる

いる。そんな思いを抱える人にとって、「嫌われる勇気」という言葉は、ある種の救いになる。「そうだ、そんなに人のことを気にしないでいいんだ」「嫌われたっていいって考えれば、もっと自分らしく生きられるじゃないか」と思えば、気持ちが楽になる。

I 、変に開き直ると、せっかくなまいっている人間関係を壊すことにもなりかねない。

周囲にうまく溶け込んでいた人物が、いきなりわがままになり、「いったい、どうしちゃったんだ」と周囲を驚かすことがある。無理をして人に合わせることはない、人からよく見られるようななどと人の意向を気にする必要はないと思うことで、

II 極端に自分が勝手になり、

相手に不快感や不信感を与える不適切な行動をとるようになってしまいうわけだ。

カウンセリングの本を読んだ途端に、急にわがままになる人もいる。

その手の本には、「無理をしなくていい」「自分を抑えるから苦しいのだ」「もっとわがままになっていい」「無理していい人を演じるのはやめよう」「人からよく思われようと思うと自分らしく生きられない」などといった救いのメッセージが書いてあったりする。

それは、あまりに無理をして自分を抑えすぎて、窒息しそうになっている人に向けての救いのメッセージと言える。そこまで無理をしすぎるから疲れてしまふんだよ。もう少し楽に、自然体に構えたらどうだろう。そんな意味で言っているわけだ。

III 無理をしすぎて苦しく

てしようがないという人に向けてのメッセージなのである。

適度に気配りができている人が、人のことをそんなに気にすることない、もっとわがままに自分を出していいなどと思って、傍若無人に振舞うようなことがあるが、^Dそれでは傍迷惑な存在になるだけだ。

嫌われる勇気をもとうと思うことで、過剰適応気味なのを多少和らげられればよいのだが、いつも自分を抑えすぎているため、適度に自分を出すという感覚がわからない。相手の立場や気持ちと調和させながら自分を出すということがうまくできない。そこでいきなり自分を出そうとすると、

IV

ストレートに出し過ぎてしまう。

人のご機嫌きげんを取るために生きているわけではない。「嫌われたくない」とか「よく思われたい」などと人からの評価ばかりを気にする生き方なんてつまらない。嫌われたっていいじゃないか。もっと自分にシヨウジキ③になろう。そんな気持ちにさせられる。

そう思っ自分を抑える手綱たづなを緩めても、きちんとした行動が取れるのは、元々よほどバランスのよい心をもつ人だ。ともすると、「もう我慢することはない」と思うことで、非常にわがままな心が前面に出てきて、利己的な衝動しょうどうが丸出しになってしまうことにもなりかねない。

ここに、「嫌われる勇気」という言葉にうっかり魅せられることの危うさがある。「嫌われる勇気」という言葉は、窮屈きゆうくつな生き方をしている人にとって救いの言葉にもなり得るが、場合によってはこれまでうまくいっていた人間関係を破壊する悪魔あくまのささやきにもなる。そのところをちゃんと踏まえておかないと、^Eとんでもない目に遭うことになりかねないから注意が必要だ。

（『「対人不安」って何だろう？』榎本博明）

問一 線部①く③のカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直しなさい。

問二 空欄

I

IV

 にあてはまる語句として適切なものを次のア～オから選んで記号で答えなさい。

ア もちろん イ つい ウ 逆に エ ただし オ あくまでも

問三 線部A「そんな葛藤を抱えている」とありますが、「葛藤」とは「二つ以上の対立する欲求や感情、考えが存在し、そのいずれをとるか迷^{まよ}うこと。」という意味です。では、本文における「二つ以上の対立する欲求や感情、考え」とはどのようなものですか。本文中より(1)九字と(2)十三字でぬき出して答えなさい(句読点も字数に数えます)。

問四 線部B「そうだと思いますが、その思いを具体的に表した部分が本文中の①く④です。本文中の①く④には一つだけ、本来の本文ではなく、本文の主旨とも合っていないものが一つあります。それはどれですか、一つ選んで番号で答えなさい。

問五 —— 線部C「とても魅力的に響く」とありますが、その理由を述べた次の文の空欄に当てはまる語句を、それぞれ①は十字で②は五字で本文中よりぬき出して答えなさい。

「人からどう思われるか」ばかりを気にしている人にとって「① 十字 ていい」「② 五字 ていい」という考えは、気持ちが楽になるから。

問六 —— 線部D「それでは傍迷惑な存在になるだけだ」とありますが、そうならないためには本来どうすべきだと考えられますか。最も適切なものを次のア～エから一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 本や新聞、ネットの人生相談を読み、その回答に書かれていることを正しく理解して、参考にする。
- イ 人にどう思われるか気にしないという正論は理解しつつも、それが全てではないので、人生相談は信じない。
- ウ カウンセリングの本を読んで、そこに書いてあるはずの救いのメッセージを探し出して忠実に実行する。
- エ 無理して自分を抑えすぎることなく、相手の立場や気持ちと調和させながらも適度に自分をだしていく。

問七 —— 線部E「とんでもない目に遭うこと」とありますが、それはどのようないきさつでなってしまうどのようなことですか。「とんでもない目」を具体的に示し、そうなるいきさつを七十字以内で説明しなさい。ただし、解答には次の語句を必ず使いなさい。

- ・「嫌われる勇気」という言葉
- ・自分勝手にわがまま
- ・人間関係

三

次の文章は辻村深月の「1992年の秋空」という小説の一節である。はるかとうみかは小学6年生と5年生の姉妹であるが、顔つきや性格、好きなものは全く違う。スポーツが得意で友達も多い姉のはるかに対して、妹のうみかは一人であることが多く、スポーツは苦手。ただ、それを気にする様子はなく、ずっと科学が好きで、最近では「宇宙」に興味を持っている。特に、毛利衛まもりゑさんが日本人で初めてスペースシャトル「エンデバー」に乗り込み宇宙に行くということで、さらに興味がわいている様子だ。思ったことを口にして、よく反論をしてくるうみかははるかとは生意気に感じつつも、うみかが逆上がりができずに居残りをさせられて泣いたという話を聞き、うみかの逆上がりの練習につき合うことにした。次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

鉄棒の特訓は、近所の『ちびっこ広場』で放課後にやることにした。私が一緒いっしょにやろうと言う前から、うみかは毎日ここで練習していたらしい。

*ー 毛利さんが宇宙に行くのは九月。スペースシャトルエンデバーの名前をテレビでも少し前から紹介しょうかいしてる。

「そんなに楽しみなの？」

「楽しみ」

別に意地悪で聞いたわけじゃなかったけど、うみかの返答は短かった。

鉄棒を両手で握りにぎ、えいっと空に向けて蹴り上げたうみかの足が、重力に負けたようにばたん、と下に落ちる。

「足、持ってあげようか」

私が逆上がりができたのは一年生の時だ。その時、先生やお父さんが、練習する私の足を捕つかまえて回してくれた。

「重いよ」

「大丈夫だよ」
だいじょうぶ

① 安請あこけ合あいしたけど、うみかがえいっと足を蹴り上げたかなり迫力はくりよくがあった。捕まえてそこねて、さらにもう一回。思いきって手を伸ばしたらうみかの靴くつの先が額かすを掠めた。

「いたっ」

「あ、ごめん」

ぶつかった場所を押さえて蹲うすくまった私に、うみかが近寄る。「だから言ったのに」と。
「いいよ。私、自分で回れるようになるから」

「私はいなくてもいいってこと？」

じんじん痛む額を押さえながら見たうみかの顔が、表情をなくした。
A
「おや、と思う間もなく、うみかが首を振る。」

「ううん。いて欲しい」

今度は私が表情をなくす番だった。そんなふうに素直に言われたら、逆らえなかった。

「――見てれば、いいの？」

「うん。お願い」

こくりと頷うなずいて、それから何度も何度も、空に向けて足を蹴る。

B
「エンデバーってどういう意味か知ってる？」

何度目かの失敗の後で、うみかが息を切らして言った。手のひらが赤茶色になって、見ているだけで鉄の匂においがかげそうだ。

私は「知らない」と首を振った。

「努力」とうみかが答えた。

空にうつすらと藍色あゐが降りてきて、薄い色の月が見え始めてしばらくした頃ころ、うみかがとうとう練習をやめた。妹が鉄棒を離れたのと入れ違ちがいに、今度は私が逆上がりをする。

足を上げる時、つま先の向こうに白い月が見えた。
C
今日、うみかは何度も何度もこうやって、私と同じように、月を蹴ってたんだなあと
思った。

逆上がりを成功させて、すっと地面に降りた私に向け、うみかが「いいなあ」と呟つぶやいた。

「思いつきり走ってきて、その弾はみの力を借りるって手もあるよ」

自分が最初の頃、そうやって初めて回れたことを思い出す。こんなふうに、とお手本で回って見せた。二、三メートル離れた場所から走り、その勢いで鉄棒を掴つかむ。月を蹴り、ぐるんと回る。

「こう？」

うみかが真似して、同じように走る。ぎこちない走り方だったけど、そのまま鉄棒を掴んだら、これまでで一番勢いよく足が上がった。あと少してきれいな円が描けそうだった。

「惜しいっ！」

思わず声が出た。うみか自身、驚いた顔をしていた。

「まだ、練習してもいい？」

D「このやり方で、明日からもやってみなよ。今日はもう遅いよ」

家に帰ると、もう七時を回っていて、私たちは、おじいちゃんとお母さんに叱られた。お父さんがまだ帰ってきてなくて、よかった。

「明日も練習、一緒に来てくれる？」

うみかとひさしぶりにお風呂に一緒に入った。鉄棒を掴みすぎたせいで感覚がおかしいのか、うみかが何度も手をグーとパーに動かしている。

「いいよ」と私は答えた。

E「誰かが何かできるようになる瞬間に立ち会うのが、こんなに楽しいとは思わなかった。」

翌日が、『りぼん』と『なかよし』の発売日だったことを、私はすっかり忘れていた。ミーナが「うち来るでしょ？」と聞く声にはっと

した。毎月、発売日の放課後にミーナとコンビ二に一冊ずつそれぞれ買いに行つて、どちらかの家で一緒に読むのが、いつの間にかルールみたいになっていた。

その二冊読みたさに私たちの仲間に入りたがっている子は他にもいる。でも、ミーナは「はるか親友だから」と、私だけを誘ってくれる。

「行く！」

漫画が読みたいのはもちろんだったけど、すぐに返事をしたのは別の理由からだ。た。「親友」のミーナの誘いを断つたら、ミーナは次から早苗ちゃんとか、誰か別の子を誘うようになってしまいかもしれない。もう、次から私を呼んでくれなくなるかもしれない。

うみかと鉄棒のことが頭を掠めたけど、練習はどうせ明日もあさってもするだろう。今日の放課後に付き合えなくなったことを伝えるため五年の教室に寄ると、うみかはすでに帰ってしまった後だった。

どうしようか迷ったけど、すぐに、まあいいか、と考え直す。

学校を出る時、「おでこ、どうしたの？」と、ミーナに聞かれた。

「朝から気になってたけど、ちよつと赤いね」

「あ、本当？ 気がつかなかった。――ね、『りぼん』って、今月ふろく何だっけ？」

妹の鉄棒練習に付き合ってたなんて話したら、ミーナはきつと私を「優しい」って言うだろう。「妹と仲がいいんだね」って言うだろう。そう思ったら、何も話したくなかった。

ミーナは一人っ子だからわかんないかもしれない。だけど、私は嫌だった。いいお姉ちゃんだなんて思われるのは、なんだか違う。もう六年と五年なのに、妹の練習に付き合ってるのも、かっこ悪く思えた。

（辻村深月「1992年の秋空」）

*1 毛利衛さん：一九九二年にスペースシャトル「エンデバー」に日本人科学者として初めて乗り込み、宇宙で様々な実験を行った。

*2 『りぼん』と『なかよし』：二つとも小中学生向けの少女漫画雑誌。当時非常に人気があった漫画雑誌。

問一 ――― 線部①②③の本文中での意味として最も適切なものを後のア～エから選んで記号で答えなさい。

①「安請け合い」

ア 確信もないのに簡単に引き受ける	イ 良いように見せたくて嘘をつく
ウ あまりに簡単に笑ってしまう	エ 自慢したいが態度には見せない

②「息を切らして」

ア 呼吸をとめて	イ 深呼吸して
ウ 呼吸が早くなって	エ ため息をついて

③「頭を掠めた」

ア 気になって仕方がなかった	イ 怪しい あや と思つてうたがった
ウ 頭すれすれを飛んできた	エ チラツと思ひ出した

問二 ――― 線部A「うみかの顔が、表情をなくした」とありますが、これはうみかのどういう心情を表していますか。最も適切なものを次のア～エから一つ選んで記号で答えなさい。

ア 「私はいなくてもいいってこと？」と答えたはるかにムツとしたが、言い返すとケンカになりそうだから我慢 がまん している。
イ 考えていたよりもはるかの痛みが強そうで、ちゃんと謝った方がよいとは思っているが言い出せずにいる。
ウ 謝ったのにもかかわらず「私はいなくてもいいってこと？」と追い打ちをかけられて、悲しい気持ちで何も言えなくなっている。
エ 「私はいなくてもいいってこと？」とはるかに言われて、本当はいて欲しいがそれをすぐに言葉や態度に出せずにいる。

問三 —— 線部B「エンデバーってどういう意味か知ってる？」からうかがえるうみかの気持ちの説明として最も適切なものを次のア～エから一つ選んで記号で答えなさい。

ア はるかに逆上がりを教えてもらってはいるが、宇宙に関する知識は負けてないぞというところを見せたかった。
イ 逆上がりの練習につきあってもらっているはるかに、少しでも恩返しをしないと、最近知ったことを教えた。
ウ 苦手な逆上がりの練習も、大好きな宇宙やいつか宇宙に行ってみたいという夢につながっていることを伝えたかった。
エ あまりにも逆上がりの練習がしんどいので、何とか好きな宇宙のことを話題にして気持ちを楽にしようとしている。

問四 —— 線部C「つま先の向こうに白い月が見えた」とあります。この年にエンデバーが月へと向かったのは九月十二日で、その日は満月でした。はるかとうみかが鉄棒の練習をしたのが、九月に入って少したった日だったとして、さらにその日の月が半月であった場合、その月の呼び名は次のうちのどれになりますか。最も適切なものを次のア～エから一つ選んで記号で答えなさい。

ア 新月 イ 上弦じょうげんの月 ウ 下弦かげんの月 エ 三日月

問五 —— 線部D「このやり方」とありますが、どのようなやり方ですか。本文中より二十四字でぬき出して答えなさい。

問六 —— 線部E「誰かが何かできるようになる瞬間」とありますが、具体的に誰が何をできるようになることを言っていますか。「瞬間」につながるように二十字以内で書いて答えなさい。

問七 ――線部 F ――ね、『りぼん』って、今月ふろく何だっけ?」なぜうみかはこのような質問をミーナにしたのでしょうか。五十字以内で書いて答えなさい。ただし、解答には必ず次の語句を使用しなさい。

- ・妹の鉄棒練習
- ・優しいお姉ちゃん
- ・ミーナ

問八 本文中の「すっかり」と同じ意味・用法の「すっかり」を使って短文を作りなさい。ただし、解答には主語と述語を必ず使いなさい。また、本文の語句や文を利用しただけの解答は不正解とします。

